

自治協ニュース

第0403号
発行者
八本松住民自治協議会
R04.07.22

念願の歩道橋建設大きな前進

～八本松西溝迫交差点 国交省、県、市 現状報告会～



八本松西溝迫交差点では広島方面への車両渋滞から続く横断歩道内での停車車両（特に大型車両）が児童横断の妨げになったり、西条方面国道2号線バイパスへの右折車両も児童横断中、登校班の列の切れ目で横断歩道へ侵入、走行していくクルマを無視した危険な車両も走行する状態であり、

7月8日（金）八本松住民自治協議会（会長 土久岡 章治、以下 自治協）は長年要望を続けた八本松西国道2号線溝迫交差点、東西方面への歩道橋建設要望受理を受け、国土交通省中国地方整備局広島国道事務所、西条維持出張所、広島県西部建設事務所、東広島市危機管理課などの各担当職員向け現状報告会を開催した。

登校児童の見守りを行っている地域住民からも体を張って対応せざるを得ず、車両に頭を下げて停車をお願いするなど危険な児童横断の補助が必要な現状への切実な訴えがあった。



渋滞で横断歩道内で停車する大型トラック

更に、夕方は人員不足で下校時見守り員も常駐できず、交通安全面では

油断の許さない状況である。こうした現状が続く中、土久岡会長は数年前から国交省西条維持出張所、県、市などへ歩道橋建設要望を続けた結果、今年度ようやく要望書類を提出承諾、受理の返答を頂いた。



広島国道事務所 福永所長

広島国道事務所福永所長は「命を張って見守り活動をされている危険な実情をお聞かせ頂いた。建設に向け高齢者や自転車の横断方法、橋脚位置によっては用地買収など課題は沢山あり、要望を表現させる様、地域の皆さんのご協力を頂きながら助めていきたい。」と述べた。土久岡会長も「完成に至った後の、歩道橋の完成初期の整備維持管理などを考慮した建設計画として頂きたい」と述べた。

あいさつ・声かけ・見守り運動

「顔の見えるあいさつで豊かな人間関係」

八本松住民自治協議会（以下、自治協）福祉委員会（委員長 信国 武登）は7月7、8日八本松中学校正門前にて、同月14、15日には地域センターで「あいさつ・声かけ・見守り運動」を展開。同月16日には八本松みなみ区福祉会（会長 藤原 和雄）は「あいさつ・声かけ・夢拾い」活動を行なった。

中学校、地域センターで街頭運動展開

7月7、8日、八本松中学校では自治協の協力員、中学校生徒計約30名が、登校する小中学生や通塾する地域の住民へ「おはようございます！」「おはようございます！」とあいさつを、多くの方が「おはようございます」とあいさつを返されたり、会釈をして通行された。同月14、15日には地域センターで運動を展開。セミナーやサークルに通われる方へ声かけしながらあいさつ運動のチラシが入った粗品を一人一人に手渡し運動をPRした。



地域センターへ入場する方へ記念品を渡す信国福祉委員長

八本松みなみ区福祉会「あいさつ・声かけ・夢拾い」運動



出発前に安全事項を確認する地域住民

7月16日には八本松みなみ区福祉会で「あいさつ・こえかけ・夢拾い運動」も実施された。この運動は奇数月第3土曜日に八本松南区内で2グループに別れて徒歩で地区内を巡回、ゴミを拾いながら行き交う住民に積極的

八本松地域総ぐるみ
あいさつ・こえかけ・みまもり運動 実施中
八本松住民自治協議会
あいさつ・こえかけ・見守り運動の幟旗

3年ぶりサマーフェスティバル

八本松中央自治会/大曾場自治会 合同開催

八本松中央自治会（会長 常光 聡）は八本松集会所で3年ぶりの開催となる第39回となる「サマーフェスティバル」を開催した。



スモーク演出の中演奏される八本松太鼓

39回目となる今年度は隣地区である大曾場自治会（会長 河内 裕）と共同で開催した。今年度の「サマーフェスティバル」はコロナ感染症対策で子どもとその親のみの入場、マスク着用をお願いする一方、飲み物を配布され、熱中

症対策も講じたがらの開催となった。会場は水鉄砲、スーパーボールすくい、輪投げ、くじ、ストラックアウト、射的、防災学習ビデオ鑑賞の集会所内外に設置された各ブースを回るスタンプラリー方式で行われた。来賓で来場した高垣

市長「地域共生の社会が定着」
小さな子どもから高齢者まで、多世代が祭りに参加し、

廣徳 東広島市長からは「第7波のコロナ感染症が広がりがつつある中、この2年間我々も新しい生活様式を身に付けつつあり、この会場でもマスク、検温など感染症対策も取られています。みなさんと一緒にこの第7波を乗り越えていきたい。保護者や高齢者から小さなお子さんまで参加され、まさに「地域共生の社会」が定着していると感じた。今日は半日皆さんとお祭りを楽しみたいと思います。」と祝辞を頂いた。



高垣市長と児童の水鉄砲的あて対決



対決終了後の記念撮影

市長、子供と水鉄砲対決
オープニングでは高垣市長と会場一番乗りの子どもと水鉄砲によるスピード的あて対決が行われ、終了後は八本松太鼓による演奏で祭りの開会を告げ、途中

ステージ横に置かれた竜頭の模様が出るなど趣向を凝らした演出で祭りの開催を祝った。

待ち望んだ祭りの開催
開始約1時間で八本松中央自治会以外の子ども向けに用意された有料の当口券が売り切れる盛況ぶり、地域住民が待ち望んだ祭りの開催だったことが伺えた。



防災学習ビデオ



輪投げ

積み重ねる土のうと鍛錬

災害緊急用土のうを作成 八本松西自主防災会

7月13日(日)八本松西(宗吉東、南/宗吉北)自主防災会は八本松西地区で緊急用土のうの作成訓練を行った。

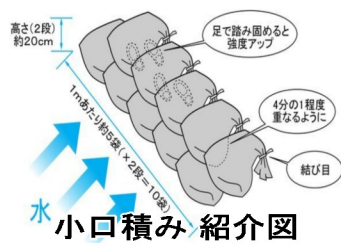
今回の訓練はコロナ禍で八本松西(宗吉東、南/宗吉北)自主防災会の地区防災委員計10名、消防署員1名、消防団員4名の小人数で行われた。訓練冒頭に八本松西分署消防団員から土のう積み訓練の内容及び訓練安全面の説明、災害発生時に行う場合の注意事項説明を受け、訓練を開始した。



訓練開始前に注意事項説明を受ける参加者

蒸し暑い中行われた今回の訓練は保管していた土のうを再利用する為、新しい土のう袋に入れ替え、さらに新しい土のうを作成、災害時によく利用する「小口積み」という土

のう袋の口を下流側に向け、袋内の土が流れ出さないようにする工法で積まれました。



小口積み 紹介図



訓練開始前(左)、終了後(右)

作成した土のうは保管用60袋を近隣住宅へ保管、同宅側溝にも約20mにも及ぶ土のうを積み上げた。宗吉3自

治会では合同で土のう作成訓練を重ねており、大きな災害時にもすぐに対応できる関係が形成されている。

宗吉総合防災対策委員会 委員長 西村正三さんは「暑い中、熱中症やけが人が出ることなく参加者の訓練目的を達成、無事終了することが出来ました。本来であれば、多くの住民に参加して頂いての防災訓練が望ましいと思いますが、今回はコロナ禍の為、小人数での実施となりました。次回は住民参加型の防災訓練が出来ればと思っています。」と述べた。

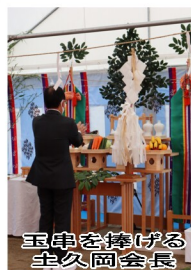


訓練に参加された防災委員の方

認定こども園工事本格化

八本松太陽こども園 工事安全を祈願し地鎮祭

6月23日(木) 社会福祉法人経山会は来年4月に開園する八



玉串を捧げる 幸久岡会長

本松太陽こども園の工事安全を祈願し、地鎮祭を執り行った。建設予定地の八本松小学校旧グラウンドで執り行われた。地鎮祭には社会福祉法人経山会、株式会社大林組、大旗連合建築設計株式会社が出席し、八本松住民自治協議会からも土

県内初「防災道の駅」

道の駅「西条のん太の酒蔵」

7月15日隣接する西条町寺家国道2号線バイパス沿いに「道の駅西条のん太の酒蔵」がオープン。これに先駆け、12日には開業記念式典と内覧会、13日に八本松住民自治協議会内住民向けのプレオープンが開催された。西条の酒造や周辺地域の特産物、地元

飲食店とコラボしたメニューを多く取り揃え、グラントオーブン翌日16日からの3連休では初日に午前中で駐車場が満杯なるまで盛況ぶりだった。本施設は県内唯一の「防災道の駅」に認定、普段は休憩や飲食で利用している大きな屋根付き広場



道の駅と屋上にある発電システム(右上)

駐車場エリアは災害時の支援部隊拠点、救急物資の備蓄拠点、受水槽、発電設備も兼ね備える防災拠点となる。

工事内容	2022年												2023年		
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
準備工事															
地盤改良工事															
基礎工事															
鉄骨工事															
足場組立・解体															
躯体工事															
外装工事															
内装・設備工事															
外構工事															
諸検査															

八本松太陽こども園工事予定表

久岡会長、常光自治部会長が参加。代表し、土久岡会長が玉串を捧げ工事の安全を祈願した。工事期間は今年6月9日から来年年2月14日を予定。